

令和5年度 県民意識調査 参考資料

産業の振興に関する取組の状況

1 産業構造の変化に対応した

県内産業の競争力の強化

- ・新分野進出、規模拡大による生産性及び賃金水準の向上や事業継続を図るため、中小企業のM&Aや事業承継（第三者承継）などを促進
- ・DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進に向けて、IoTやAI等のデジタル技術の普及啓発を行うとともに、その導入を促進
- ・地域経済を牽引するリーディングカンパニー創出に向けて企業の取組を支援
- ・企業の海外展開に向けた活動経費を支援
- ・県技術専門校などにおける職業訓練の実施などにより、在職者の学び直しを支援



生産工程のスマート化に向けた研究開発

◎M&A成約企業数

24 件 (R2) ⇒ 28 件 (R3)

◎技術専門校における在職者訓練の受講者数

489 人 (R2) ⇒ 470 人 (R3)

2 地域資源を生かした成長産業の発展

- ・輸送機産業の電動化等に対応するため、人材開発や研究開発、設備導入等を支援
- ・本県の多様で豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを生かし、新エネルギー関連産業への県内企業の参入等を促進
- ・県内情報関連産業を牽引する企業の創出に向け、県内ICT企業の成長戦略に基づく取組を支援
- ・医療機関のニーズに沿った新製品の開発や医療福祉関連産業への県内企業の参入を促進



提供：秋田洋上風力発電(株)
能代港洋上風力発電所(能代市)

◎輸送用機械器具製造業の製造品出荷額

1,212 億円 (R2) ⇒ 1,392 億円 (R3)

◎風力発電設備の導入量(累積)

648,549kW (R2) ⇒ 794,619kW (R4)

3 歴史と風土に培われた地域産業の活性化

- ・伝統的工芸品の販路開拓や付加価値の高い新商品開発の取組を支援
- ・商業・サービス業者等の業態転換、新分野進出、新商品・新サービスの開発等の取組を支援
- ・建設産業の持続的な発展に向け、人材確保や業界全体のイメージアップなど総合的な支援を実施
- ・リサイクル施設の整備や研究開発支援等により、リサイクル産業の創出・育成を促進



秋田県中小企業
応援キャラクター
「がんばっけさん」

◎商業事業者の販売額

3,453 億円 (R2) ⇒ 3,414 億円 (R3)

◎ICT活用工事の実施件数

28 件 (R2) ⇒ 41 件 (R3)

4 産業振興を支える投資の拡大

- ・積極的な誘致活動等により、成長産業の企業や若者定着の受け皿として期待される企業を誘致
- ・洋上風力発電の拠点の形成に向けたふ頭用地等の整備を推進



大手製材会社進出の能代工業団地

◎企業の誘致件数及び誘致済企業等による施設・設備の拡充件数

25 件 (R2) ⇒ 31 件 (R3)

◎洋上風力発電における港湾の利用件数(累積)

2 件 (R2) ⇒ 2 件 (R4)

農林水産業の振興に関する取組の状況

5 農業の食料供給力の強化

- ・ 農業経営の法人化や生産規模の拡大を目指す意欲的な経営体を育成
- ・ 県外からの移住者や新規学卒者・Uターン者など、多様なルートと幅広い年代からの新規就業者を確保・育成

◎農業法人数(認定農業者)

788 法人 (R2) ⇒ 816 法人 (R3)

◎新規就農者数

252 人 (R2) ⇒ 265 人 (R3)

- ・ 効率的な生産体制の確立に向けたスマート農業の普及拡大や、持続性が高い環境保全型農業の取組拡大を推進
- ・ 水田の大区画化や排水対策を図るほ場整備を実施

◎環境保全型農業の取組面積

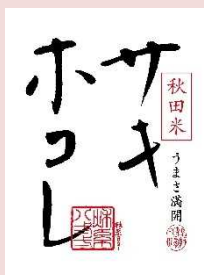
4,204ha (R2) ⇒ 4,475ha (R3)

◎ほ場整備面積(累積)

90,981ha (R2) ⇒ 91,743ha (R3)



地域農業の担い手たち



R4にデビューした「サキホコレ」

- ・ 園芸メガ団地や大規模な畜産団地を整備
- ・ 「えだまめ」や「しいたけ」など、全国トップクラスとなる園芸品目の産地づくりを支援
- ・ 「秋田牛」や「比内地鶏」のブランド力強化に向けた取組を推進

◎メガ団地等大規模園芸拠点の整備数(累積)

41 地区 (R2) ⇒ 50 地区 (R3)

◎秋田牛の出荷頭数

2,844 頭 (R2) ⇒ 2,951 (R3)

- ・ 「サキホコレ」のブランド確立をはじめとした秋田米の戦略的な生産・販売の推進

◎サキホコレの作付面積 80ha (R3) ⇒ 733ha (R4)

- ・ 国内外に通用するトップブランド農産物の創出
- ・ 台湾・タイへの秋田牛やリンゴの輸出を促進
- ・ 6次産業化による県産農産物の付加価値の向上

◎農産物の輸出額

2.9 億円 (R2) ⇒ 3.5 億円 (R3)

6 林業・木材産業の成長産業化

- ・ 資源の循環利用を図るため、低コスト再造林を推進
- ・ 林内路網の整備や高性能な林業機械の導入などにより、低コストな素材供給体制づくりを促進
- ・ 住宅や非住宅建築物への県産材利用と輸出の促進

◎再造林面積

332ha (R2)

⇒ 394ha (R3)

◎素材生産量(燃料用含む)

1,425 千 m^3 (R2)

⇒ 1,508 千 m^3 (R3)



再造林の植栽作業

7 水産業の持続的な発展

- ・ 漁業体験や技術習得研修の実施による新規就業者の確保・育成
- ・ トラフグ等の種苗放流やサーモン等の蓄養殖の取組を推進
- ・ 加工品の開発や漁師直売・オンライン販売の取組を支援



直売に取り組む若手漁業者

◎新規漁業就業者数(60歳未満)

10 人 (R2) ⇒ 12 人 (R3)

◎蓄養殖等に取り組む漁業経営体数(累積)

17 経営体 (R2) ⇒ 33 経営体 (R3)

8 農山漁村の活性化

- ・ 農山漁村にリモートワークなどで自分の仕事を持ち込み、農林漁業を組み合わせた新たな兼業スタイル「半農半X」の取組を促進
- ・ 農山漁村での都市住民との交流活動や農家民宿・レストランの起業等の取組を促進

- ・ 草刈りや植樹など地域住民による農地、森林を守る活動を促進

◎農村関係人口

6,518 人 (R2)

⇒ 8,232 人 (R3)

◎農地保全活動面積

101,908ha (R2)

⇒ 103,037ha (R3)



古民家を改修した農家民宿

観光・文化・スポーツの振興に関する取組の状況

9 「何度でも訪れたくなるあきた」の創出

- ・県内を目的地とする旅行商品等への割引を実施するとともに、土産物店等で使用できる地域限定クーポン券を発行
- ・食や文化、スポーツを始め、地域資源を活用した秋田ならではの魅力を国内外に発信
- ・宿泊施設における客室の高質化など、観光客の旅の満足度の向上に向けた受入環境の充実を支援



秋田県公式観光サイト
[アキタファン]

◎観光地点等入込客数(延べ人数)

1,836 万人 (R2) ⇒ 1,873 万 8 千人 (R3)

10 「美酒・美食のあきた」の創造

- ・日本酒や発酵食品等の更なる高品質化とブランド力の強化を促進
- ・食品事業者の競争力強化を支援
- ・国内外への販路拡大に向けた商談会等の実施



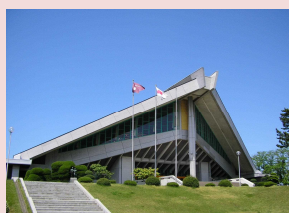
シアル・パリへの出展

◎加工食品・日本酒の輸出金額

6 億 6800 万円 (R2) ⇒ 11 億 5,700 万円 (R3)

12 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現

- ・ジュニア層の強化を競技力向上の柱に据えた一貫指導体制を確立
- ・ノーザンハピネッツやブラウブリッツ、ノーザンブレッツの活動を支援
- ・スポーツ合宿やトップスポーツ大会の開催支援により交流人口を拡大
- ・新県立体育館の整備に向けて基礎調査を実施し、基本計画づくりに着手



現在の県立体育館

◎成人の週1回以上のスポーツ実施率

58.5% (R2) ⇒ 51.1% (R4)

11 文化芸術の力による魅力ある地域の創生

- ・伝統芸能をはじめとする多彩な文化事業の実施や、オンラインを活用した映像配信などにより、秋田ならではの文化の魅力を国内外に発信
- ・青少年音楽コンクールやあきたの文芸など若者から高齢者まで多くの県民が楽しめる文化事業を実施

- ・地域で活動する文化団体の活動を支援

- ・本県文化の中核拠点となる「あきた芸術劇場ミルハス」のグランドオープン(令和4年9月)



あきた芸術劇場ミルハス

◎文化事業への来場者数

5 万 4,435 人 (R2) ⇒ 6 万 9,947 人 (R3)

13 国内外との交流と住民の暮らしを

支える交通ネットワークの構築

- ・日本海沿岸東北自動車道「遊佐象潟道路」、「二ツ井今泉道路」及び東北中央自動車道「横堀道路」、「真室川雄勝道路」の整備を促進
- ・重要港湾秋田港と秋田自動車道秋田北 IC を結ぶ「秋田港アクセス道路」の事業を推進

◎県内高速道路の供用率

92% (R2) ⇒ 92% (R3)

- ・羽田発着枠政策コンテストによる大館能代空港の3往復運航が実現
- ・秋田新幹線新仙岩トンネルについて、JR 東日本の調査への協力や国への積極的な要望活動等を実施し、実現に向けた取組を推進



国内定期便(大館能代空港)

- ・国や市町村と連携し、乗合バスや三セク鉄道の着実な運行を確保

◎秋田県と県外間の旅客輸送人員数(自動車を除く)

136 万 8 千人 (R2) ⇒ 177 万 3 千人 (R3)

若者の定着や地域の活力維持に関する取組の状況

14 新たな人の流れの創出

- ・県内企業の魅力に触れることができる高校生向けの職場見学や企業ガイダンス、大学生等向けの合同企業説明会などのマッチングイベントを開催
- ・県内就職への意識醸成を図るため、高校生や県内外の大学生等、保護者に対し、情報誌やWebにより秋田暮らしの魅力を発信したほか、県内就職者への経済的支援として奨学金返還に対する助成を実施

- ・市町村等と連携し、移住相談や、あきたまるごとAターンフェアを開催し、「暮らし」と「仕事」の情報を総合的に提供



移住・定住総合ポータルサイト
(<https://www.a-iju.jp>)

- ・リモートワークによる移住とワーケーションを促進

◎Aターン就職者数

1,120人 (R2) ⇒ 1,183人 (R3)

15 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

- ・あきた結婚支援センターの運営支援を通じて結婚を希望する独身者をサポート
- ・市町村が地域の実情やニーズに応じて行う子ども・子育て支援事業に対して支援

- ・保育料や副食費への助成など、子育て世帯への経済的支援



園庭で楽しく遊ぶ園児たち

◎婚姻件数

2,686組 (R2) ⇒ 2,618組 (R3)

◎出生数

4,499人 (R2) ⇒ 4,335人 (R3)

16 女性・若者が活躍できる社会の実現

- ・女性自身の意識改革に加え、企業経営者の理解促進のための啓発や、女性の地域活動への参画拡大に向けた気運の醸成
- ・「あきた女性活躍・両立支援センター」による普及啓発や相談対応、一般事業主行動計画策定等の指導・助言、アドバイザー派遣等の企業支援

◎民間事業所の女性管理職割合(課長相当職以上)

19.3% (R2) ⇒ 20.7% (R3)

◎民間事業所における男性の育児休業取得率

10.7% (R2) ⇒ 14.8% (R3)

17 変革する時代に対応した地域社会の構築

- ・集落機能を維持するため、複数集落単位で地域の将来をデザインする「コミュニティ生活圏」の形成を支援



地域の将来についての検討会

- ・地域課題の解決に向けた多様な主体との連携・協働を推進

◎社会活動・地域活動に参加した人の割合

57.3% (R2) ⇒ 54.4% (R3)

18 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成

- ・県や9市町村におけるカーボンニュートラル宣言、脱炭素先行地域2件採択、省エネ家電購入支援、事業者省エネ診断など、温暖化対策を推進
- ・エコフェス、ハピネッツのゼロカーボンゲームを開催
- ・コーヒー店割引等によるマイボトル持参運動、コンビニやスーパーでの「てまえどり」の啓発
- ・食品廃棄物や廃プラスチックに係る資源循環モデルの実証試験に向けた協議会を設置

◎温室効果ガス排出抑制計画書の目標達成事業者の割合

79.3% (R2) ⇒ 81.3% (R3)

◎廃棄物の最終処分量(公共関与分)

94千t (R2) ⇒ 90千t (R3)

19 行政サービスの向上

- ・県民の利便性向上のため、電子申請・届出サービス等を用いた行政手続のオンライン化を推進
- ・県民や企業等が二次利用しやすい形式（エクセル等）によるデータ公開を進めるためオープンデータカタログサイトを新たに構築

◎行政手続の電子化率

59.6% (R3) ⇒ 68.8% (R4)

◎オープンデータ化した県有データ数

87件 (R2) ⇒ 103件 (R3)

健康づくりや医療・福祉の充実に関する取組の状況

20 健康寿命日本一の実現

- ・市町村や経済団体、保健医療団体、報道機関など、多様な主体と連携した健康づくり県民運動を推進



あきた健康応援大使とあきた健康チャレンジ大使による健康づくりに関する情報発信

- ・「秋田スタイル健康な食事」メニュー認証制度や「新・減塩音頭」の普及啓発により、「減塩」や「野菜・果物摂取」を推進



新・減塩音頭

- ・アプリを活用した企業対抗型ウォーキングイベントを開催し、働き盛り世代における運動習慣の定着化を促進
- ・スーパー、コンビニなどの協力による、店舗敷地内の喫煙所を撤去するキャンペーンなどにより受動喫煙の防止を推進
- ・ICTを活用した健（検）診予約システムの導入等により、健（検）診を受診しやすい環境を整備

◎健康寿命

男性 71.21 年、女性 74.53 年 (H28)
⇒ 男性 72.61 年、女性 76.00 年 (R1)

22 高齢者と障害者の

暮らしを支える体制の強化

- ・介護職員の処遇改善や人材育成等に積極的な事業所を県が認証する「介護サービス事業所認証評価制度」の普及を推進
- ・市町村のひきこもり相談窓口機能を強化するモデル事業の実施など、ひきこもり当事者の身近な地域における相談支援体制の整備を促進

◎介護施設等の介護職員数

23,282 人 (R2) ⇒ 23,105 人 (R3)

21 安心で質の高い医療の提供

- ・県北地区への地域救命救急センター整備に向けた支援
- ・がん診療連携拠点病院等を中心とした、がん診療提供体制を強化
- ・脳卒中等の急性疾患発生時に、専門医が不在の地域でも迅速で正確な診断が受けられるよう、病院間の急性期診療ネットワーク整備を支援
- ・医療のデジタル化に向けたオンライン診療モデルの実証を支援

◎脳血管疾患による人口 10 万人当たり年齢調整死亡率 34.7 (R2) ⇒ 35.6 (R3)

◎がんによる人口 10 万人当たり 75 歳未満年齢調整死亡率 76.8 (R2) ⇒ 77.2 (R3)

23 誰もが安全・安心を実感できる

地域共生社会の実現

- ・民・学・官・報の連携による自殺予防街頭キャンペーン等の普及啓発活動を推進
- ・県立高校での S O S の出し方講座、教職員の S O S の受け方研修会などを実施
- ・若者を中心に多くの県民が利用している SNS による相談体制を整備

◎自殺による人口 10 万人当たり死亡率 18.0 (R2) ⇒ 18.8 (R3)

- ・子どもの貧困対策に取り組む支援者によるネットワークの拡充と県民の理解促進
- ・児童虐待を行った保護者等へのカウンセリングや、「秋田県児童虐待防止宣言」の策定など、児童虐待防止についての取組を強化

- ・里親制度の普及啓発から、里親の育成、養育開始後のサポートまでを包括的に支援する体制を整備し、里親委託を促進



秋田県里親PRキャラクター

◎里親委託率

17.6% (R2) ⇒ 24.2% (R3)

教育・人づくりに関する取組の状況

24 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成

- ・起業体験やボランティア活動など、地域の活性化に貢献する体験活動や地域の伝統を受け継ぐ活動を推進
- ・県立高校などに就職支援員や職場定着支援員などを配置し、就職支援、県内就職の促進、職場への定着支援などの取組を実施

◎高校生の県内就職率

72.5% (R2)

⇒ 75.4% (R4)



産業教育フェアでの販売体験

25 確かな学力の育成

- ・主体的に問題発見・解決する「探究型授業」の充実を図るため、学校訪問等により授業改善を推進
- ・少人数学習によるきめ細かな教育や社会人等外部人材の活用による専門性の高い教育を展開
- ・学校と地域の協働活動を推進する人材の育成や、地域と連携した安全教育活動を展開
- ・ICT活用による質の高い学びの推進及び教職員のICT活用指導力向上を図るための研修を実施

◎学んだことを振り返って次の学習に

つなげることができる児童生徒の割合(小6・中3)

86.5% (R3) ⇒ 85.8% (R4)

26 グローバル社会で活躍できる人材の育成

- ・英語コミュニケーション能力の育成に向け、外国語指導助手や外部試験を活用
- ・小学校3年生から高校3年生までを対象に県内各地でイングリッシュキャンプを開催



イングリッシュキャンプ

◎英検3級相当以上の英語力を有する

中学3年生の割合

39.1% (R1) ⇒ 44.4% (R4)

27 豊かな心と健やかな体の育成

- ・スクールカウンセラー等の専門家の配置により教育相談体制を充実
- ・地域人材を活用し、授業の充実を図るとともに部活動を支援



地域人材を活用した体育授業

◎自分にはよいところがあると思っている

児童生徒の割合(小6・中3)

86.0% (R1) ⇒ 84.7% (R4)

◎運動やスポーツをすることが好きな

児童生徒の割合(小5・中2)

65.9% (R1) ⇒ 63.0% (R4)

28 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

- ・各大学等の多様な資源を活用し、地域社会や産業の課題解決に向けた取組を推進
- ・高校教育と大学教育の連携など学生の確保に向けた多様な取組を推進

◎県内高等教育機関による県内企業等との共同研究・受託研究・受託事業数

144件 (R2) ⇒ 143件 (R3)

◎県内高卒者の県内大学・短大・専修学校等への進学率

33.7% (R2) ⇒ 35.6% (R4)

29 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

- ・県民の生涯学習に取り組む機会の確保や読書活動の充実に向けた支援
- ・本県の優れた文化芸術を発信し、鑑賞・創作体験等の機会を提供



中高生を対象とした読書イベント

- ・地域の歴史・文化を生かしたまちづくりに向け、文化財の総合的な保存・活用の方針などを示した「秋田県文化財保存活用大綱」を策定

◎県立美術館・近代美術館・県立博物館・農業科学館の利用者数

169,596人 (R2) ⇒ 236,539人 (R3)